



関西学院大学大学院 社会学研究科 進学説明会

2026年6月16日（火） 18:40～



進学説明会の流れ

- ・ 開会挨拶 （研究科委員長）

- ・ 社会学研究科について （研究科副委員長）

- ・ 大学院生による説明 （社会学研究科生）

- ・ 閉会挨拶 （研究科委員長）



進学説明会の流れ

- ・ 開会挨拶 （研究科委員長）

- ・ 社会学研究科について （研究科副委員長）

- ・ 大学院生による説明 （社会学研究科生）

- ・ 閉会挨拶 （研究科委員長）



進学説明会の流れ

- ・ 開会挨拶 （研究科委員長）

- ・ 社会学研究科について （研究科副委員長）

- ・ 大学院生による説明 （社会学研究科生）

- ・ 閉会挨拶 （研究科委員長）

社会学研究科

Graduate School of Sociology

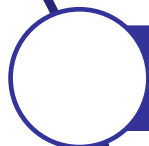
社会学・社会心理学・
文化人類学・民俗学の
先端的研究の推進、研究者の養成、
専門能力をもった職業人の育成を目指す



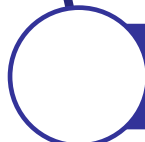
アジェンダ



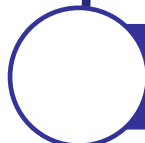
社会学研究科の特徴



奨学金・研究奨励制度



キャリアパス



入試情報



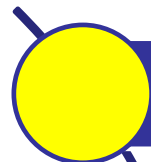
社会学研究科の理念



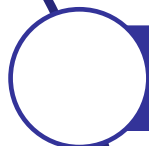
よくある質問



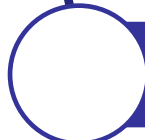
アジェンダ



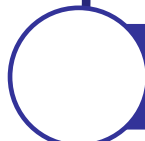
社会学研究科の特徴



奨学金・研究奨励制度



キャリアパス



入試情報



社会学研究科の理念



よくある質問



社会学研究科の特徴



1 長い歴史と豊富な教員

設立1961年以来、半世紀以上にわたる歩みを通じて、日本の社会学研究の拠点の一つとして発展
36名の多彩な専門領域の教員が在籍

2 多様な教育内容

幅広いカリキュラムと2名の指導教員による主/副指導体制
「社会調査士」「専門社会調査士」資格を取得可能

3 充実した研究支援体制

大学院サポートプログラム/奨学金/研究奨励制度の充実



社会学研究科の特徴 幅広いカリキュラム



社会学研究演習／社会心理学研究演習／ 文化人類学・民俗学研究演習

社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学という専門性にもとづいた態度・関心、知識・思考を身につけるとともに、適切な研究テーマと課題を自ら設定し、論理的・実証的な分析を行い、オリジナルな仮説的結論を提示する能力と技能を身につけるための科目。

- ・ 主指導教員・副指導教員の2つのゼミに所属。
- ・ 大学院入試時に指導した指導教員が、研究科における主指導教員となる。授業の履修計画、研究に関する指導等を担当。自身の研究関心に最も近い教員を選択。
- ・ 副指導教員は、自身の研究関心からやや離れるが、指導教員とは別アングルからの研究視座を与え、指導教員との調整役を担う。

共通科目

社会学研究演習
社会心理学研究演習
文化人類学・民俗学研究演習
(指導教員・副指導教員)

専門性にもとづいた
態度・関心、知識・思考



社会学研究科の特徴

幅広いカリキュラム



合同演習

「修士論文作成合同演習A・B」

「博士論文作成合同演習A・B」

- 3分野・各ゼミを超えて、社会学研究科全体を横断的につなぐ
- 異なる学年の間で、プレゼンテーション力とコメント力を鍛える
- 修士論文・博士論文の作成プロセスを、ロールモデルから学ぶ

たとえば・・・

【前期課程1年】 4月＝進学時テーマ発表⇒1月＝修士論文テーマ発表

【前期課程2年】 春学期・秋学期に各1回修士論文の経過を発表

⇒修士論文提出（1月）⇒修士論文審査

【後期課程1年】 博士論文の構想、先行研究サーベイ、研究計画を発表

【後期課程2年】 博士論文のボディとなる学会発表・投稿論文を発表

⇒「博士学位キャンディデート」の授与

【後期課程3年】 博士論文の全体像を発表⇒博士論文の完成⇒学位審査

合同演習

「修士論文作成合同演習A・B」

「博士論文作成合同演習A・B」

3分野・各ゼミを超えた合同ゼミ
修士論文・博士論文の
作成プロセスを修得



社会学研究科の特徴

受賞年度	氏名	受賞内容
2004	石田 淳	数理社会学会論文賞
2008	前村 奈央佳	日本社会心理学会若手研究者奨励賞
	林 幸史	日本グループ・ダイナミクス学会 優秀学会発表賞
2009	金菱 清	日本社会学会奨励賞「著書の部」
	加藤 潤三	日本グループ・ダイナミクス学会 優秀論文賞
2010	岡本 卓也	日本コミュニティ心理学会 若手学会員研究・実践奨励賞
2011	前田 拓也	福祉社会学会奨励賞
	稲津 秀樹	日本社会学会奨励賞
2012	雪村 まゆみ	日仏社会学会奨励賞
	福田 雄	日本社会学会奨励賞「論文の部」

学会関連の受賞歴

受賞年度	氏名	受賞内容
2014	谷岡 優子	日本民俗学会研究奨励賞
2018	金 太宇	環境社会学会奨励賞
	中村 健太	関西社会学会奨励賞
	渡壁 晃	関西社会学会奨励賞
2020	三隅 貴史	関西社会学会奨励賞
	中越 みずき	日本社会心理学会若手研究者奨励賞
	柏原 宗一郎	日本社会心理学会若手研究者奨励賞
	水野 景子	日本社会心理学会若手研究者奨励賞
2023	呉 松旆	北海道民族学会奨励賞
	水野 景子	日本社会心理学会奨励論文賞
	下川 詩乃	日本社会心理学会若手研究者奨励賞
	三木 毬菜	日本社会心理学会若手研究者奨励賞
2025	岩谷 和也	日本社会心理学会若手研究者奨励賞



充実した研究支援体制

独自の大学院生サポートプログラム

1. 学術誌『K G社会学批評』の編集・刊行

論文発表のための雑誌発行（毎年1冊刊行）

2. 院生主体の共同研究発足

学外研究者を招聘した研究会の実施（年2-3回実施）

3. 研究の国際的な発信支援

大学院海外研究助成金の支給

4. 大学院生サポートプログラムセミナー

論文執筆支援、奨学金申請書作成支援、研究発表支援など

5. 合同演習での報告支援

合同演習での報告に向けての支援





関西学院大学大学院および社会学研究科の情報

◆ 大学院総合案内 ホームページ

<https://www.kwansei.ac.jp/academics/graduate/>

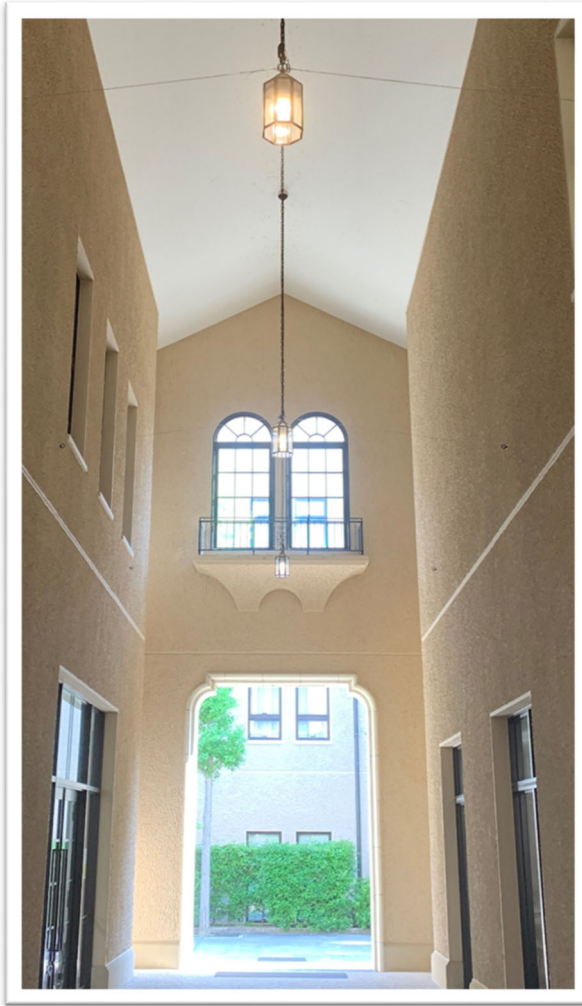
入試や奨学金等の情報が掲載。
デジタルパンフレットの閲覧が可能。



◆ 社会学研究科 ホームページ

https://www.kwansei.ac.jp/gs_sociology/

社会学研究科の情報が掲載。進学説明会等のイベント情報も告知。

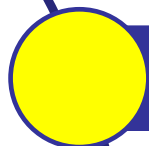




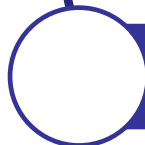
アジェンダ



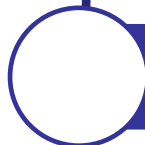
社会学研究科の特徴



奨学金・研究奨励制度



キャリアパス



入試情報



社会学研究科の理念



よくある質問



奨学金・研究奨励制度について

研究者や高い専門性を身に着けた高度職業人としてのキャリア形成をめざす大学院生を、充実のサポート体制で継続的に支援します。

博士課程前期課程対象：ベーツ支給奨学金

博士課程後期課程対象：大学院研究者育成奨励金





奨学金・研究奨励制度について

■ 関西学院大学 各種奨学金

※2026年6月時点の内容であり、今後内容を変更する可能性があります。

【支給型奨学金】

名称	奨学金額	採用/ 募集方法	採用期間	採用時期	採用募集人数	対象
関西学院大学大学院 ベーツ支給奨学金	学費相当分 全額 or 学費相当分の2/3 or 学費相当分の1/3 * 1、2	研究科推薦	1年～2年 * 2	入学時 (入学前に 採用が確定)	-	原則として、正規の 学生で入学試験の成 績が極めて優秀な博 士前期課程の新入生 のうち、研究科から 推薦のあった者

- * 1 学費＝授業料＋実験実習費＋教育充実費を合計した金額。
実験実習費は在籍する研究科で全員一律にかかる金額を対象とする。
- * 2 初年度のみ採用や給付の停止・採用金額の変更もあります。返還不要・申込不要。



奨学金・研究奨励制度について

【貸与型奨学金】

名称	金額	募集方法	採用期間	採用期間	採用人数実績	対象
日本学生支援機構奨学金 第一種奨学金 (無利子)	〈博士前期〉 月額5万円、 8.8万円から選択 〈博士後期〉 月額8万円 12.2万円から選択	公募	標準修業 年限まで 継続手続 あり	春：7月 (出願は4月)	博士前期 専門職学位：84名 博士後期：6名 *2025年度採用数	大学院の各課程の標準修業年限内に在学する者で、人物・学業ともに特に優れ、かつ健康であって、大学院において研究を継続するにあたり経済的理由により修学困難な者で、学資の貸与が必要と認められる者
日本学生支援機構奨学金 第二種奨学金 (有利子)	月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択			秋：12月 (出願は10月)	博士前期 専門職学位：25名 博士後期：1名 *2025年度採用数	
大学院修士段階における授業料後払い制度 *1 (無利子)	授業料相当額(上限あり)および生活費奨学金(最大月額4万円)	公募	標準修業年限まで継続手続あり	HPにて案内 (出願は入学前の12月~1月予定)	博士前期：12名 *2025年度採用数	国内の大学院修士課程(博士課程前期課程を含む)及び専門職学位課程進学者のうち、条件*2を全て満たす者

* 1 日本学生支援機構奨学金第一種奨学金との併用は不可

* 2 条件については関西学院大学大学院ホームページ

https://www.kwansei.ac.jp/academics/graduate/scholarship/deferred_payment.htmlをご確認ください





奨学金・研究奨励制度について

【外国人留学生対象 経済支援制度】

名称	金額	採用/ 募集方法	採用期間	対象	採用人数
私費外国人留学生 授業料減免	授業料の 30%相当額	公募	各学期	在留資格「留学」 を有する者 ※その他にも別途要件あり	原則、学部・大学院に在籍する対 象者で条件を満たす者は全員採用。 ただし標準修業年限を超えた場合 は対象外。
大学院外国人 留学生奨学金 (入学前予約採用)	授業料の 50%相当額	研究科推薦	1年間	在留資格「留学」 など、研究科が認 めた者 ※その他にも別途要件あり	入学試験の成績等により選考。合 格者の40%程度採用。
大学院外国人 留学生奨学金 (入学後採用)	授業料の 35%相当額	研究科推薦	1年間	在留資格「留学」 など、研究科が認 めた者 ※その他にも別途要件あり	入学前予約採用者を除く全外国人 留学生の60%程度採用。

- * 他の奨学金を受給する場合は併給できないことがあります
- * 他にも学外の財団等による各種奨学金が多数あります
- * 詳細：<https://ciec.kwansei.ac.jp/study/foreign/assistance/>





奨学金・研究奨励制度について



【研究奨励制度】 奨学金制度以外に、在学生の研究を奨励するものとして次のような制度があります

名称	支給額	期間	支給人数	対象
大学院研究者育成奨励金制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学金 (入学時1度に限る) ・ 年間学費相当額 (授業料、実験実習費、教育充実費その他) 	1年間(継続支給可能) ※ただし標準修業年限を超えることはできない	申請者のうち 審査通過者全員	研究に専念できる環境を整備し、 社会で活躍する研究者・博士人材を志す者
大学院 海外研究助成金	海外での学会発表、海外で行う調査、海外の大学で実施される短期講習時の参加費、交通費、宿泊費など 支給金額は本人からの申請に基づき経費相当の金額または一部 (上限10万円・上限20万円の2種類)	年間1回 (再申請可) ※ただし通算3回を超えることはできない	予算の範囲内で 選考・採択	若手研究者である博士課程後期課程在学者および大学院研究員の海外における研究活動の支援・育成を目的として、海外における優れた個人研究や共同研究に要する経費を支給する助成金
研究成果公開 促進助成制度	研究誌などへの投稿・掲載などに係る論文投稿料、論文審査料、論文掲載料および論文投稿のための外国語校閲料の全部または一部	1年間 (詳細は該当年度の応募要領を参照)	予算の範囲内で 選考・採択	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博士研究員 ・ 大学院博士課程(前期・後期)在学者および大学院研究員 ・ 研究科研究員(詳細は該当年度の応募要領を参照)

詳細：https://www.kwansei.ac.jp/academics/graduate/scholarship/index_2.html



奨学金・研究奨励制度について



【在学者および修了者等の育成制度】

詳細は入学後にご確認ください

名称	支給額	期間	対象
大学院 奨励研究員	月額250,000円	1年間	関西学院大学大学院博士課程後期課程に2年以上在学している者、または大学院博士課程後期課程に標準年限以上在学後退学し、博士課程後期課程入学後5年以内の者で、1年（最長2年）以内に博士学位論文を提出する見込みのある者（本務職に就いている者を除く）。文系研究科に限定
教学補佐 (TA)	授業の補佐： 1時間あたり1,800円の時間給 その他の業務： 1時間あたり1,500円の時間給 (2027年度以降)	1年間 (更新可能)	大学院学生、大学院研究員、専門職大学院研修員または研究科研究員。授業の補佐、研究室・図書室運営などの支援業務、または教務事務の補助を行いながら研究できる制度
リサーチ・ アシスタント (RA)	月額100,000円 (または1時間あたり1,500円の 時間給)	1年間 (更新可能)	関西学院大学大学院の各研究科、研究所などにおいて、特定の研究課題または共同研究プロジェクトなどの研究補助を行う博士課程後期課程在学者
博士研究員	月額278,000円～ 378,000円	1年間 (更新可能)	博士学位を有する者（人文・社会科学の分野においては博士学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者も可）で、大学院における研究の活性化の担い手になることが期待できる人物



日本学術振興会 特別研究員制度

- ・日本学術振興会が、大学院博士課程在学者及び博士の学位取得者を対象に、優れた研究能力をもつ者を支援する制度
- ・月額20万程度の奨励金と年間研究費

【関西学院で学振特別研究員に採用されるメリット】

- ・特別研究員DC採用期間終了者、または採用に至らずとも審査において高い評価を受けた方を、関西学院大学において特別任用助教として雇用する制度があります。

 研究者としてのキャリアを踏み出すために支援します！



社会学研究科の日本学術振興会特別研究員(DC)採用者

採用年度	資格	氏名	研究課題
2014	DC1	三阪 夕芽子	グローバル時代におけるケニアのキリスト教と国家意識の形成に関する社会学的考察
2014	DC2	中野 歩美	インド・タール沙漠の人びとの移動をめぐる言説とジョーギーの生活実践に関する研究
2017	DC1	三隅 貴史	神輿会のフォークロア—グローバル都市の祭礼を生きる人びとの民俗学的研究
2017	DC2	谷岡 優子	芸者の「芸」研究を通じた芸能理論の再構築
2017	DC2	奥田 絵	「公共」補償の環境社会学的研究：所有権の揺らぎと共同性に着目して
2019	DC2	山岸 蒼太	視覚障害者のアイデンティティをめぐる社会学的研究
2021	DC1	水野 景子	社会的ジレンマ状況におけるサンクションの逆効果はなぜ起こるのか？
2022	DC1	岡田 葦生	停滞する日本の政治参加に対する政治忌避態度による分析
2022	DC2	中越 みずき	低所得層における自民党への投票の心理基盤
2024	DC2	柏原 宗一郎	移民に対し攻撃行動が生じる意思決定プロセスの解明
2025	DC1	三木 毬菜	将来世代への利他行動に至る心的メカニズムの解明—持続可能な社会の達成を目指して—
2026	DC2	岩田 和也	「見かけ上の分断」発生基盤の解明—中庸の発言が抑制されるメカニズムの実証的検討—
2026	DC2	小野 佑理	資産の形成に関する理論・実証的研究—生成メカニズムに基づく因果モデリング
2026	DC1	許 英瑞	インターセクショナルリティから見る「移民のヤングケアラー」：当事者の語りに着目

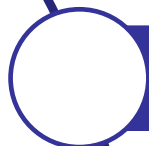
※2014年度以降の採用者



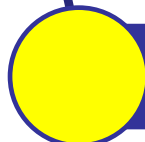
アジェンダ



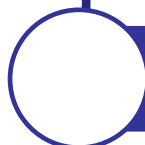
社会学研究科の特徴



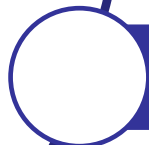
奨学金・研究奨励制度



キャリアパス



入試情報



社会学研究科の理念



よくある質問



社会学研究科でのキャリアパス

他大学・他大学院から関西学院大学を受験

博士課程前期課程
(2年)

博士課程後期課程
(3年)

高度な専門知識を活かし、
企業などの研究所で研究職や
企画立案などに従事する

ex)一般企業

社会学研究科で学んだ専門知識を
活かし、調査・研究に関わる専門
職に就くほか、海外の大学院で
研究を深化させる

ex)在外日本大使館専門調査員、海外大学院留学

社会学について深い知識を修め、
教育・研究・実務能力を
身に着けた大学教員になり、
後進の指導・教育に携わる

ex)大学専任教員

🌙 キャリアパス/大学院への早期進学



【早期進学（社会学部を3年卒業）の条件】 社会学部内規第35条

- ・本学大学院に入学を認められた者であること。
- ・第3学年終了時に、研究演習及び卒業論文を除く、卒業に必要な単位を全て修得していること。
- ・第3学年度終了時の平均点が80点以上あること。
- ・課題論文審査の合格をもって、研究演習及び卒業論文の単位として認定する。
(課題論文は卒業論文提出期間に社会学部事務室に提出)



キャリアパス/修了後の進路（就職先一覧）

メディア

日本放送（NHK）
集英社
朝日広告社
東映株式会社

製造業

電通テック
（株）ピーアイシステム

情報・通信業

アクセントチュア・テクノロジー・
ソリューションズ
KDDI
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス（株）
三井住友カード株式会社

小売業

ビームス
大塚家具

印刷業

山野印刷

サービス業

朝日広告社
ユー・エス・ジェイ
リクルートマネジメントソリューションズ

公務

西宮市
三木市
大阪府
熊本県

その他、伊藤忠商事・日本航空・アビームコンサルティングなどの一般企業その他、各種業界で活躍



キャリアパス/修了後の進路 (大学教員)

明治学院大学
社会学部 社会学科
准教授 (2016年度修了生)

追手門学院大学
社会学部 社会学科
准教授 (2013年度修了生)

関西学院大学
社会学部 社会学科
准教授 (2017年度修了生)

鳥取大学
地域学部 地域創造コース
准教授 (2012年度修了生)
2011年 日本社会学会奨励賞
「論文の部」受賞

信州大学
人文学部
文化情報論・社会学コース
助教 (2011年度修了)

桃山学院大学
社会学部 社会学科
准教授 (2014年度修了生)
2018年 環境社会学会奨励賞受賞

中京大学
現代社会学部 現代社会学科
専任講師 (2017年度修了生)

長崎県立大学
地域創造学部 公共政策学科
講師 (2017年度修了生)

関西学院大学
社会学部 社会学科
特別任用助教
(2021年度修了生他多数)

広島修道大学
人文学部
准教授 (2021年度修了生)

東北大学
大学院 文学研究科
テニュアトラック准教授
(2023年度修了生)

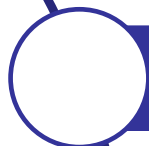
岡山県立大学
保健福祉学部 現代福祉学科
助教 (2024年度修了生)



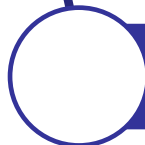
アジェンダ



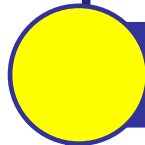
社会学研究科の特徴



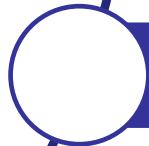
奨学金・研究奨励制度



キャリアパス



入試情報



社会学研究科の理念



よくある質問



【前期課程・後期課程】の 카테고리 と入学定員

(1) 正規学生 (一般)

【前期課程】	社会学専攻	(12名)	: 第1次募集、第2次募集
【後期課程】	社会学専攻	(4名)	: 第2次募集のみ

(2) 正規学生 (外国人留学生)

【前期課程】	社会学専攻	(若干名)	: 第1次募集、第2次募集
【後期課程】	社会学専攻	(若干名)	: 第1次募集、第2次募集

(3) 編入学【後期課程】

【後期課程】	社会学専攻	(若干名)	: 第1次募集、第2次募集
--------	-------	-------	---------------

※いずれの 카테고리 にいても、関西学院大学大学院 社会学研究科 博士課程前期課程修了 (見込) 者については、英語・専門科目を免除します。

英語試験について

- ◆英語は、社会学または社会心理学の入門書レベルの英書から出題します。
試験での辞書の使用は認めません。

ご参考：サンプル問題

https://www.kwansei.ac.jp/graduate/admissions/sociology/ent_exam_info

- ◆英語外部試験で**CEFR B2以上**のテストのスコアを有する場合は、
英語の試験を免除します。
(ただし、スコアの資格取得日付は各試験の出願開始日から遡って2年以内とする。)

* CEFR については本学が指定する英語資格・検定試験のスコアを確認してください。
<https://www.kwansei.ac.jp/kgcefr>

🌙 K.S. 英語試験参考書 社会学、文化人類学・民俗学（1）

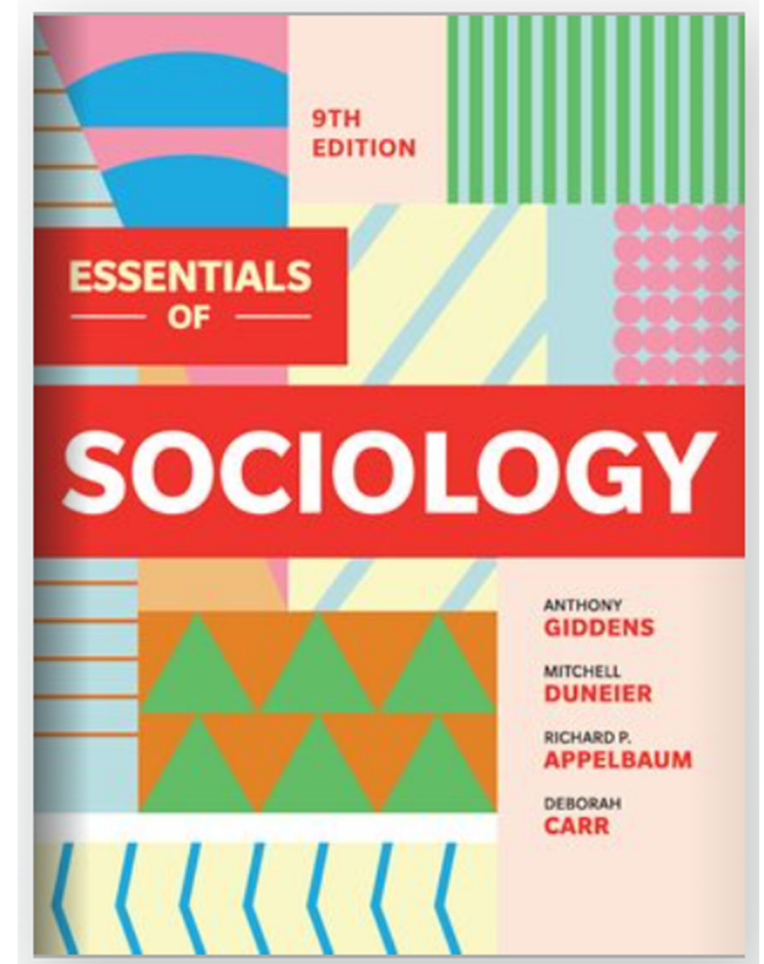
Essentials of Sociology 9th ed.

Authors: Anthony Giddens, Mitchell Duneier,
Richard P. Appelbaum, Deborah Carr

Publisher : W. W. Norton & Company;
9th edition (July 1, 2024)

ISBN : 978-1-324-06239-4

* これらは出題範囲となる「指定参考書」ではなく、
あくまで、受験準備に参考となる文献です。



🌙 K.S. 英語試験参考書 社会学、文化人類学・民俗学（2）

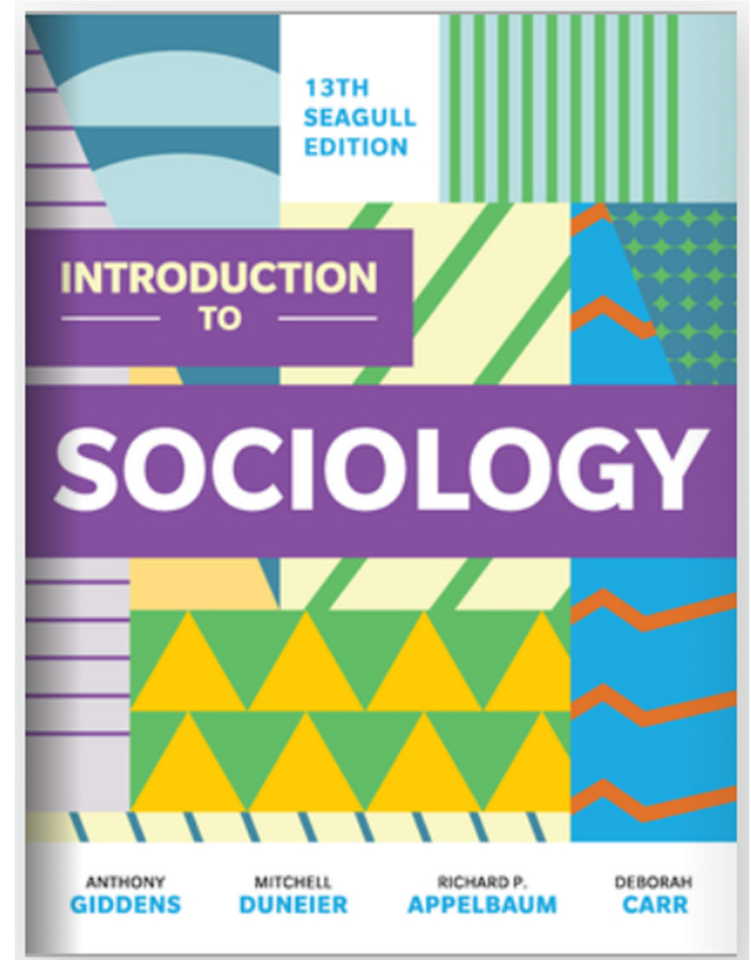
Introduction to Sociology 13th ed.

Authors: Anthony Giddens, Mitchell Duneier, Richard P. Appelbaum, Deborah Carr

Publisher : W. W. Norton & Company;
13th edition (July 1, 2024)

ISBN: 978-1-324-06229-5

* これらは出題範囲となる「指定参考書」ではなく、あくまで、受験準備に参考となる文献です。



🌙 K.S. 英語試験参考書 社会学、文化人類学・民俗学 (3)

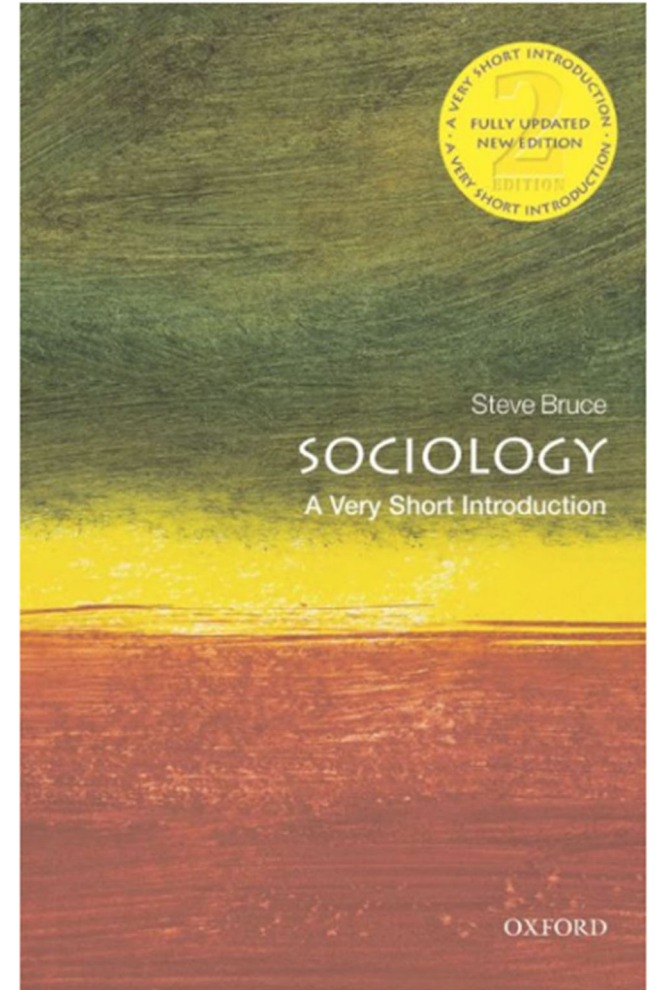
Sociology:
A Very Short Introduction 2nd ed.

Authors: Steve Bruce

Publisher : Oxford University Press (September, 2018)

ISBN: 978-0-19-882296-7

*これらは出題範囲となる「指定参考書」ではなく、あくまで、受験準備に参考となる文献です。



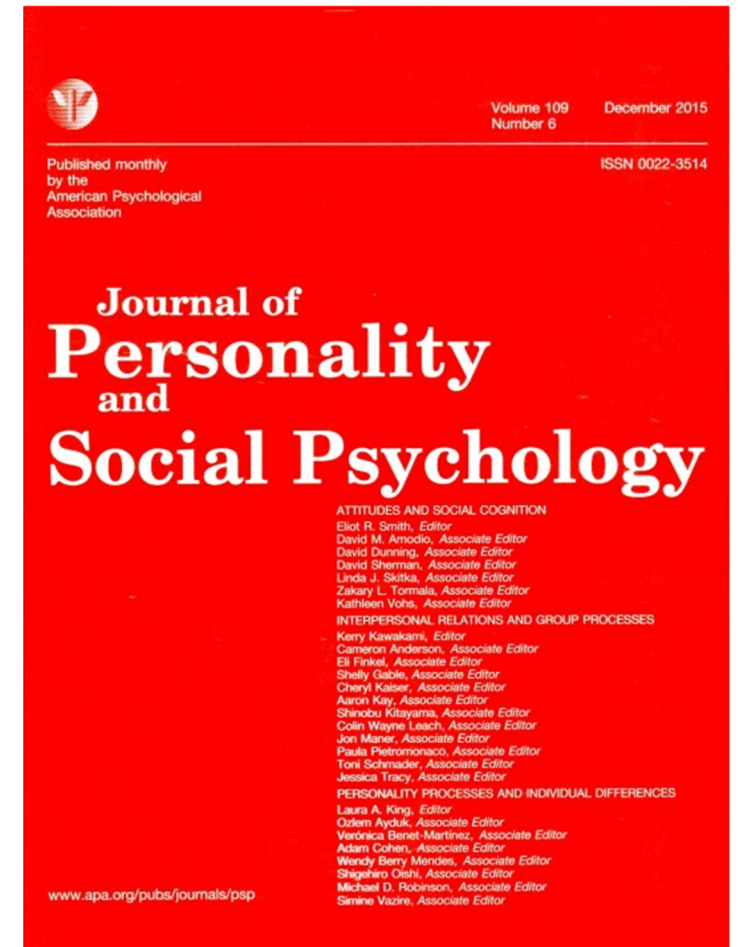


英語試験参考書 大学院で社会心理学を勉強するために

大学院で社会心理学の研究を行うためには、たとえば、Journal of Personality and Social Psychologyのような**専門学術誌に掲載された英語論文を読めることが必須**となります。

したがって、関西学院大学社会学研究科への入学を目指す受験生は、入試までに専門学術誌の英語論文を読めるようになることを目指して欲しいです。

そのための勉強としては、英語論文自体をたくさん読むことはもちろんですが、ステップのひとつとして、以下のハンドブックが役立つかと思います。





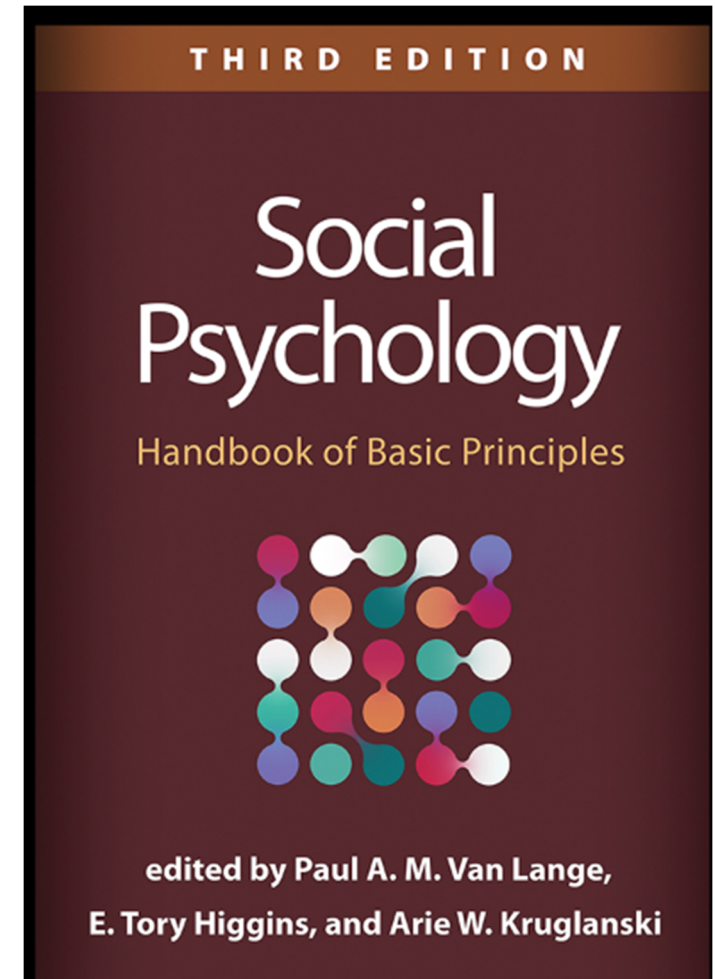
英語試験参考書 社会心理学（1）基礎編

Social Psychology Handbook of Basic Principles Third Edition

Editor: Paul A. M. Van Lange, E.
Tory Higgins, Arie W. Kruglanski

Publisher : The Guilford Press; 3rd edition
(October 6, 2020)

ISBN: 978-1462543984





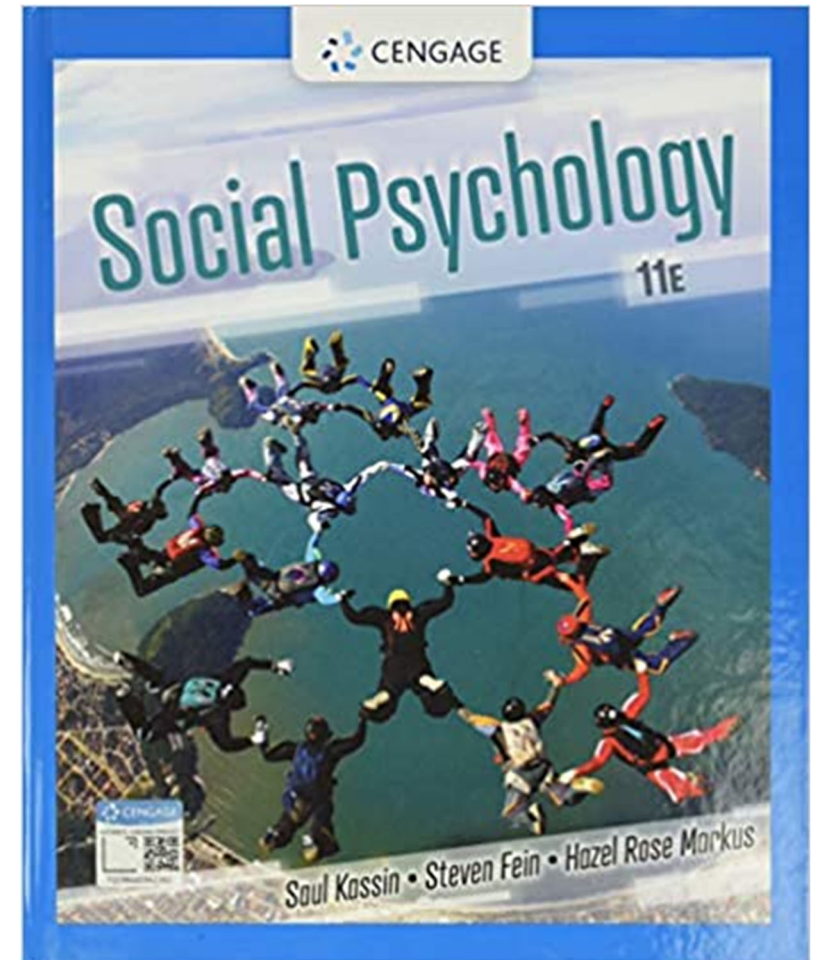
英語試験参考書 社会心理学 (2) 入門編

Social Psychology (MindTap Course List) 11th Edition

Editor: Saul Kassin, Steven Fein,
Hazel Rose Markus

Publisher : Cengage Learning; 11th edition
(May 22, 2020)

ISBN: 978-0357122846





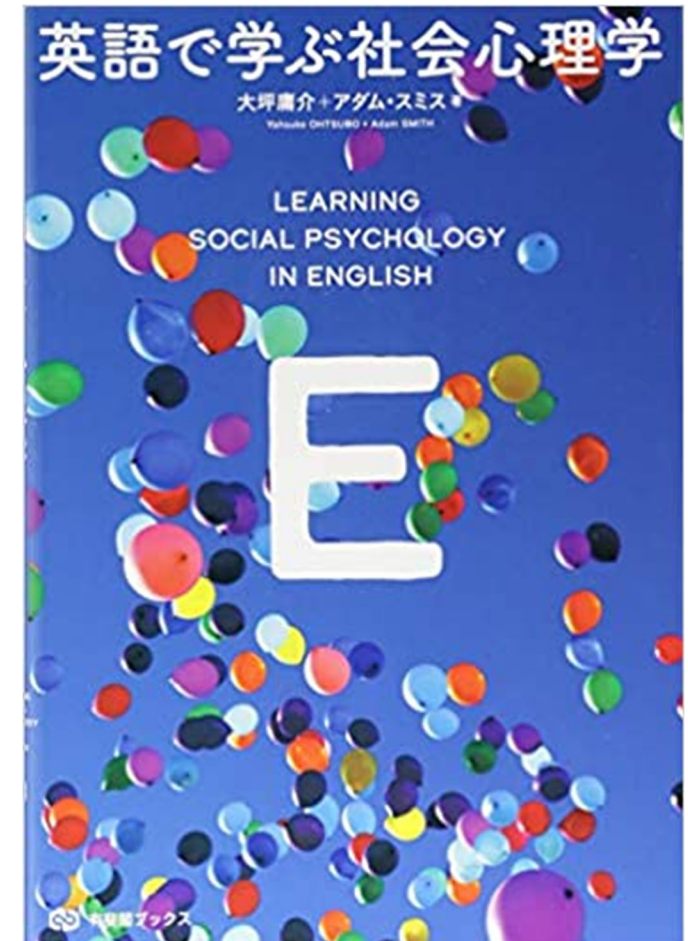
英語試験参考書 社会心理学（2）入門編

英語で学ぶ社会心理学

著者: 大坪庸介、アダム・スミス

出版社: 有斐閣（2017年12月18日）

ISBN: 978-4641184367





専門科目

- ◆ 社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学の各分野から、指定参考図書にもとづいて出題します。

試験までに、自分が専攻する分野の指定参考図書（社会心理学分野は指定された2冊とも）を十分に学習しておいてください。

☾ K.G. 専門科目 指定参考図書

■社会学

『社会学入門』

編著者：盛山 和夫・金 明秀・
佐藤 哲彦・難波 功士

出版社：ミネルヴァ書房 (2017/4/20)

ISBN：978-4623079117





専門科目 指定参考図書

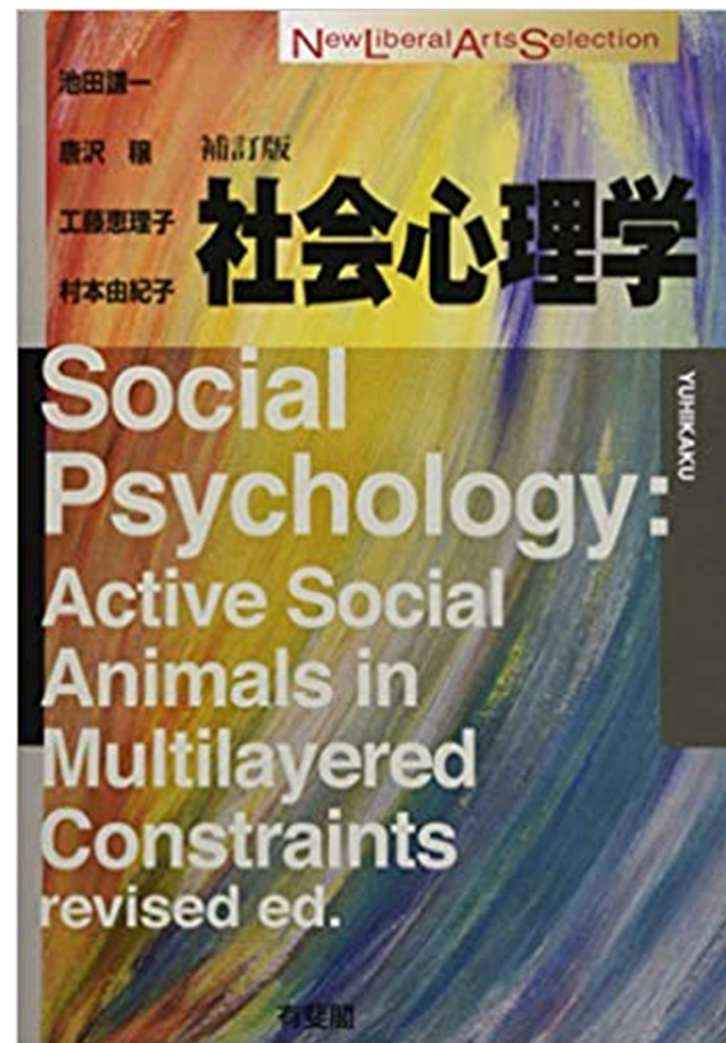
■社会心理学①

『社会心理学 補訂版』

著者：池田 謙一・唐沢 穰・
工藤 恵理子・村本 由紀子

出版社：有斐閣; 補訂版 (2019/3/27)

ISBN：978-4641053878



🌙 専門科目 指定参考図書

■社会心理学②

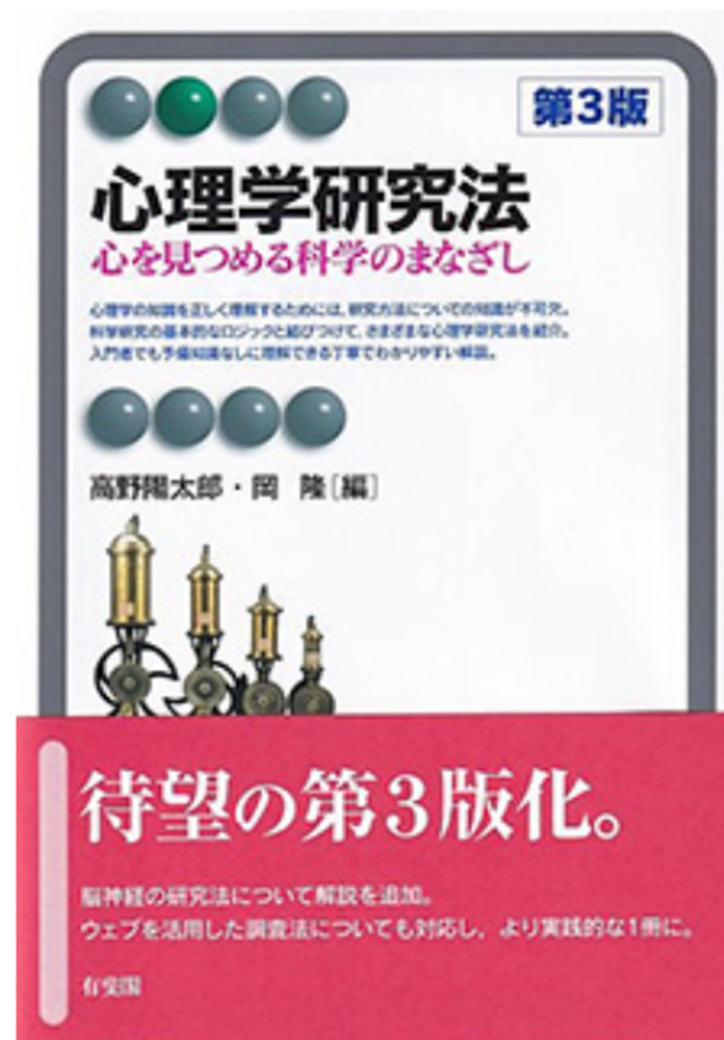
『心理学研究法

——心を見つめる科学のまなざし 第3版』

編著者：高野 陽太郎・岡 隆

出版社：有斐閣; 補訂版 (2025/11)

ISBN：978-4-641-22258-8





専門科目 指定参考図書

■文化人類学・民俗学①

『よくわかる文化人類学[第3版]』

編著者：綾部恒雄・桑山敬己

出版社：ミネルヴァ書房 (2025/3/15)

ISBN：978-4623097234





大学院入試情報

一般入試、社会人入試結果

2026年4月入学

【前期課程】

一般 : 合格者 10名 (志願者 14名)

留学生 : 合格者 12名 (志願者 33名)

【後期課程】

一般 : 合格者 2名 (志願者 3名)

留学生 : 合格者 1名 (志願者 2名)

2025年4月入学

【前期課程】

一般 : 合格者 3名 (志願者 9名)

留学生 : 合格者 3名 (志願者 17名)

【後期課程】

一般 : 合格者 8名 (志願者 8名)

留学生 : 合格者 2名 (志願者 2名)



入試に関するその他情報

■ 社会学研究科ホームページ

<https://www.kwansei.ac.jp/graduate/sociology/index.html>



■ 社会学研究科 入試情報

<https://www.kwansei.ac.jp/graduate/admissions/sociology/>



■ よくあるご質問

入試の出願に際して、よくいただくご質問についてまとめています。



【お問い合わせ】 関西学院大学社会学部事務室

開室時間 : 月曜日～金曜日 8:50～16:50

TEL : 0798-54-6202

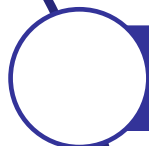
Mail : socio-daigakuin@kwansei.ac.jp



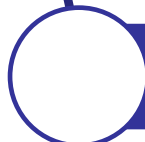
アジェンダ



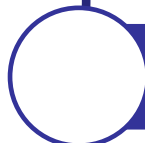
社会学研究科の特徴



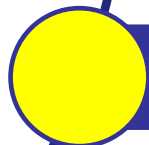
奨学金・研究奨励制度



キャリアパス



入試情報



社会学研究科の理念



よくある質問

社会学研究科のアドミッションポリシー

社会学研究科 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

社会学研究科は、博士課程教育で培っていかこうとする能力に応じて、以下の条件を満たしている者に広く門戸を開いている。

【博士課程前期課程】

項目	具体的な内容
1 態度・関心	さまざまな社会現象や社会問題に強い関心をもち、社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学という専門性の見地から、それらにアプローチすることを学習しようとする意欲と見通しをもっている。
2 知識・思考	社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学に関する基礎的レベルの知識と思考力をもち、論理的かつ実証的な思考や判断ができる。
3 技能・表現	社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学に関する基礎的レベルで、ジェネリック・スキルを活用でき、同様のレベルで、日本語および一つ以上の外国語によって、コミュニケーションするためのスキルを身につけている。
4 統合的能力	上記1～3の学習成果を総合的に活用して、社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学に関する基礎的レベルで、自ら課題を発見し、その課題を分析し解決することができる。



社会学研究科のアドミッションポリシー

【博士課程後期課程】

項目	具体的な内容
1 態度・関心	社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学に関する専門的研究に着手しようとする強い意欲と態度をもち、それを展開させていくための十分な見通しをもっている。
2 知識・思考	社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学に関する専門的研究に着手し、それを展開させていくために必要な専門的知識と専門的思考力を身につけているとともに、高度に専門分化した知識をより大きな文脈のなかに位置づけ、関連づけるために必要な幅広い知識と柔軟な思考力を身につけている。
3 技能・表現	社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学に関する専門的研究に着手し、それを展開させていくために必要なレベルで、ジェネリック・スキルを身につけているとともに、同様のレベルで、日本語および一つ以上の外国語によってコミュニケーションするためのスキルを身につけている。
4 統合的能力	上記の1～3の学習成果を総合的に活用して、社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学に関する専門的レベルで、適切な研究テーマと課題を自ら設定し、先行研究にもとづいて、論理的・実証的な分析を行い、オリジナルな仮説的結論を提示する能力と技能を身につけている。



社会学研究科の理念・目的・教育目標

【理念】

社会学研究科は、社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学の専門的かつ先端的研究の推進、専門的研究能力と技能の教育・育成、研究成果の社会への還元を通して、自由で自律的な個人から成る、開かれたよりよい社会の実現に寄与することを基本理念とする。

【目的】

社会学研究科は、社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学の先端的研究を推進するとともに、博士課程前期課程では、社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学の専門的知識と技能を身につけ、適切な研究テーマと課題の設定、および論理的かつオリジナルな分析を行なう能力と技能を身につけることによって、自らの専門性を通して、幅広く社会に貢献できる人物を養成することを目的とする。

さらに博士課程後期課程では、社会学、社会心理学、文化人類学・民俗学の専門的研究に従事することによって、専門分野の研究の発展に寄与し、社会に貢献できる人物を養成することを目的とする。



社会学研究科の理念・目的・教育目標

【教育目標】

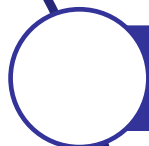
- 1) 研究方法や研究対象の専門分化にもとづきながら、それらを総合的に応用し、複雑化する現代社会を分析できる人物を育成する。
- 2) 論文執筆や外国語によるプレゼンテーションのための教育プログラムによって、国際的に通用する研究に貢献できる人物を育成する。
- 3) 博士学位（課程博士）取得に至るまでの段階・プロセスをモデル化するとともに、「博士学位キャンディデート」を授与することによって、博士学位（課程博士）の取得を促進する。



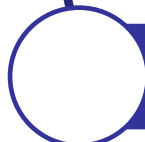
アジェンダ



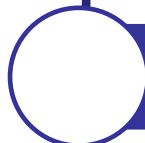
社会学研究科の特徴



奨学金・研究奨励制度



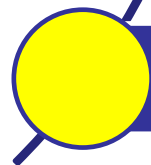
キャリアパス



入試情報



社会学研究科の理念



よくある質問



よくある質問

【大学院生活について】

Question	Answer
<p>通学は週にどの程度必要ですか？ 授業の頻度は？</p>	<p>前提として、社会学研究科の修了に必要な単位数は次のとおりです。 <u>前期課程：32単位</u> <u>後期課程：20単位</u></p> <p><u>前期課程1年生</u>は1学期に10～18単位履修（科目数では5～9科目を履修登録）しています。 この中には夏季休暇期間に実施される集中講義科目も含まれるため、<u>週当たりでは5～6コマの授業を受講している方が大半を占めます。</u> 登校日数は履修状況によって異なりますが、週2～5日程度になります。</p> <p><u>前期課程2年生</u>は、少なくとも指導教員の研究演習、副指導教員の研究演習、修士論文作成合同演習を受講する必要があります。それ以外の授業に関しては個人の状況によって異なりますが、基本的に<u>週4～7コマの授業を受講しています。</u></p>



よくある質問

【大学院生活について】

Question	Answer
大学生時の授業とどのような違いがありますか？	<p>学部生が受講する授業に比べて、大学院の授業では次のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none">①専門性が高い内容が増える②少人数での授業が中心になるため、教員から手厚い指導を受けられる③ゼミは前期課程・後期課程それぞれ全学年のゼミ生と一緒に受講する <p>また、前期課程と後期課程のゼミが合併開講されているゼミが多い。</p>
大学院で交換留学されている方の例を教えてください。	<p>社会学研究科から参加する方はほぼいませんが、全学で1～2名程度の方が交換留学に参加されています。</p> <p>詳細については国際連携機構事務部のホームページをご確認ください。</p>



よくある質問

【教学補佐制度について】

Question	Answer
TA（教学補佐）とLA（ラーニング・アシスタント）は何が違いますか？	<p>TAにも授業補助の業務がありますが、学部（または博士課程前期課程）を卒業している方を対象としている分、「社会学に関する一定の知識を持った学生」としての役割を期待しています。（授業の内容に関する質問に対応してもらう等）</p> <p>また、TAの業務は授業補助以外にも様々あり、例えば社会学部に設置されている「共同学習室」のカウンターにて、学部生からの質問に対応してもらうといった業務もあります。（授業内容やレポートの書き方についての相談などが寄せられる）</p>



よくある質問

【入試について】

Question	Answer
入試を受けるのに必要な条件などがありますか？	本研究科のホームページの「入試情報」に掲載している「20〇〇年度 大学院入学試験要項」の「2. 出願資格」をご確認ください。こちらを満たしていれば受験いただけます。 出願資格は、進学を希望する課程（博士課程前期課程か博士課程後期課程）、あるいは正規学生（一般）か正規学生（外国人留学生）かで異なります。 事前によくご確認ください。
大学院受験するためにGPAの基準はありますか？	ありません。
関西学院大学社会学部に所属している学生は、推薦などの入学制度がありますか？	ありません。



よくある質問

【入試について 提出書類】

Question	Answer
進学推薦書のページ数や文字数の制限はありますか？あるいは、おおよその目安を教えてください。	制限は特に設けていませんが、例年の出願者は基本的にA4用紙1枚で提出されています。
出願書類にある「内外での関連研究の状況」とは、「国内外」での状況という認識で良いですか？	そのご認識でお間違いありません。
所属大学で発行できる成績証明書にはGPAが記載されていませんが問題ないですか？	その場合は、記載されていないものをご提出いただければ問題ありません。
民俗学や文化人類学を専攻していない、理系学部生でも進学できますか？	指導を希望する教員から理解を得られたうえ、受験し合格したら進学できます。



よくある質問

【社会学研究科の制度、実際の状況について】

Question	Answer
社会学研究科では副指導制度を実施していますが、自分の研究テーマをめぐって副指導教員を選ぶことになるのでしょうか？	はい、その通りです。入学決定後、指導教員と相談のうえ1名の副指導教員を決めていただきます。研究テーマに関する指導を受けられる大学院指導教員を選んでいただきます。
指導教員だけではなく副指導教員も受験時に希望してかまわないのでしょうか？	入学決定後、副指導教員については、院生の研究内容と照らしながら、指導教員と一緒に決めていただきます。
社会人院生は在籍していますか？ また、社会人と院生の両立がどのように可能か伺いたいです。	大学院授業は、平日の日中に、対面形式で実施されます。よって、時間の融通が利く社会人の方であれば、社会人と院生の両立が可能です。まずは、個別に指導を受けたい教員に相談する事をお勧めいたします。
修士・博士課程ともに、社会人学生の制度について知りたいです。また社会人学生と一般の学生との間でのカリキュラムに違いがあれば教えていただきたいです。	社会人学生も一般学生と同じカリキュラムとなっています。



よくある質問

【社会学研究科の制度、実際の状況について】

Question	Answer
他学部の出身者はどのくらいいますか？	社会学研究科 博士前期課程の在学者を見ますと、全24名中、17名が社会学部以外の学部出身です。 出身学部は、文学部、法学部、国際学部など様々な学部の方がいらっしゃいます。
博士論文の査読体制に関して、公開されている情報、制度内容の概観などあれば、教えてください。	本学の主指導教員、副指導教員、そして他大学の教員が1名以上を含め、3～5名の教員により審査委員が構成され、論文の査読を行います。 また、審査委員により論文の内容に関して「口頭試問」が実施され、論文の内容と併せて審査し、博士学位授与の可否が決定されます。



進学説明会の流れ

- ・ 開会挨拶 （研究科委員長）

- ・ 社会学研究科について （研究科副委員長）

- ・ 大学院生による説明 （社会学研究科生）

- ・ 閉会挨拶 （研究科委員長）



進学説明会の流れ

- ・ 開会挨拶 （研究科委員長）

- ・ 社会学研究科について （研究科副委員長）

- ・ 大学院生による説明 （社会学研究科生）

- ・ 閉会挨拶 （研究科委員長）



ご視聴ありがとうございました。
皆さまのご進学、心よりお待ちしております。

関西学院大学大学院 社会学研究科



アンケートにご協力をお願いいたします。